

📧 学校に荷物が届きました。これです。お手紙と薄い茶色と言うか、黄土色と言うか、それと黒と白で、柔らかいけれど丈夫そうな物が三つ。高学年の人で、ピンと来た人がいるのではないかな。そうです、大谷翔平選手が送ってくださったグローブが、本校にも届きました。右利き用が二つ。左利き用が一つ。これです。(実物提示) お手紙を読みます。



貴校ますますご清栄の事とお喜び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。

この三つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていた

だけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。
野球しようぜ。

大谷翔平

まだ、次のチームに移籍する前の手紙なので「エンゼルス」になっているのですね。大谷選手は、グローブだけではなくて、能登半島の大地震の際も、寄付をしてくださっています。そのコメントも読みます。

ロサンゼルス・ドジャースとグッゲンハイム・ベースボールは、令和六年能登半島地震への支援として一〇〇万ドル(約一億四五〇〇万円)を寄付し、個人で寄付をする大谷選手と協力することを表明します。日本中の皆さんの悲しみに寄り添い、一日も早い復興をお祈りしています。

ロサンゼルス・ドジャース

令和六年能登半島地震による被災地支援のため、この度ドジャースと共同で寄付をいたします。復興活動に参加してくださった方々に感謝するとともに、今後も私たちが団結していき被災された方々を支援していきたいと願っています。行方不明者の早期発見と被災地域の復興を心より願っています。

大谷翔平

グッゲンハイム・ベースボールというのは、

ドジャースを運営している会社のことです。大谷選手、本当に「カッコイイ!」。すてきな人ですね。大谷選手の名前を知らない人はいないでしょうね?

さて、今まで何回かお話ししていますが、ギリシア語の「アレテー」という言葉が思い出されます。この「アレテー」、通常、「徳」とか「勇気」と訳される言葉です。「卓越性」とか「優秀性」、「有能性」なんていう難しい言葉にも訳されます。

「徳」を日本語で表すのはとても難しいのですが、良い性質、人として優れている、立派、信頼される人、他人に尽くせるような人のことを「徳のある人」と言います。「卓越性」は、はるかに優れていて、群を抜いている様子。大谷選手のように、「二刀流」などと呼ばれ、打つても投げてても超一流の人を指す言葉です。

「優秀」の「優」は、「優しい」の「優」。優秀な人は、優しい人。優しい人は、人を憂える(心配する)ことのできる人。人を憂えるのには、その人に余裕や強さがないとダメ。その余裕や強さを「勇気」と言うのです。

「出る杭は打たれる。」ということわざがあります。意味を調べてくれるとうれしいのですが、大谷選手のように「出すぎる杭は打たれない」のです。大谷選手、まさに「アレテー」という言葉にドンピシャリの方ですね。

(立教小学校校長 田代 正行)